

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和7年6月4日(2025.6.4)

【国際公開番号】WO2025/004426

【出願番号】特願2024-527467(P2024-527467)

【国際特許分類】

C 2 5 D 5/36(2006.01)

C 2 5 D 3/06(2006.01)

C 2 5 D 5/26(2006.01)

10

【F I】

C 2 5 D 5/36

C 2 5 D 3/06

C 2 5 D 5/26 D

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月9日(2024.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鋼板と、

前記鋼板の少なくとも一方の面に配されたクロム含有層とを備える表面処理鋼板であって、

前記鋼板と前記クロム含有層との界面の近傍に、Oが原子濃度で10%以上含まれる酸素濃化領域が存在し、

前記近傍は、Crに対するFeの原子比率が0.7~1.3の範囲にある領域である、
表面処理鋼板。

30

【請求項2】

前記近傍における前記酸素濃化領域の被覆率が50%以上である、請求項1に記載の表面処理鋼板。

【請求項3】

前記クロム含有層のクロム付着量が、片面当たり40.0~500.0mg/m²である、請求項1に記載の表面処理鋼板。

【請求項4】

前記クロム含有層のクロム付着量が、片面当たり40.0~500.0mg/m²である、請求項2に記載の表面処理鋼板。

40

【請求項5】

前記クロム含有層の酸化クロム付着量が、片面当たり40.0mg/m²以下である、請求項1~4のいずれか一項に記載の表面処理鋼板。

【請求項6】

鋼板と、前記鋼板の少なくとも一方の面に配されたクロム含有層とを備える表面処理鋼板の製造方法であって、

前記鋼板を硫酸イオンを含有する水溶液と接触させ、前記鋼板の表面に前記水溶液が30.0g/m²超60.0g/m²以下存在する状態で0.10~20.0秒保持する鋼板表面調整工程と、

3価クロムイオンを0.05mol/L以上含有する電解液中で前記鋼板を陰極電解処

50

理する陰極電解処理工程とを含む、表面処理鋼板の製造方法。

【請求項 7】

前記電解液は、3価クロムイオン源、カルボン酸化合物、および水を混合し、pHを4.0～7.0に調整するとともに、温度を40～70に調整することによって調製される、請求項6に記載の表面処理鋼板の製造方法。

10

20

30

40

50